

日野市子ども包括支援センター 「これまでと現在地」

日野市子ども部 子ども家庭支援センター 小島寿美江

I はじめに

日野市は、児童虐待の相談件数の増加や子育てに困難を抱える世帯が顕在化している状況等を踏まえ、子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化が喫緊の課題となっていた。

令和6年5月、子ども包括支援センターみらいくがオープンし、母子保健と児童福祉が日々同じ執務スペースで一体化した支援に取り組んでいるため報告する。

II これまでの歩み

1、連携強化の認識が醸成するまで

日野市では、平成19年に乳児の死亡事例を受け、平成21年から当時の健康課子育て健康係と子ども家庭支援センター相談援護係で年6回定期的に連携強化会議を実施してきた。会議ではお互いのケース情報の共有と進行管理をしていたが、平成27年ごろには虐待予防、早期発見の視点から母子保健分野での虐待に関するアプローチについて度々議論となっていた。こうした下地があったことから、健康課子育て健康係と子ども家庭支援センターの相談援護係の両係はさらなる連携強化が児童虐待の予防、早期発見と子育てに関する切れ目ない支援に有効であると共通認識が醸成されていた。平成28年の児童福祉法等の改正が追い風となり、子育て世代包括支援センターと子供家庭総合支援拠点の整備が明記され、さらに両者が同一機関で一体的に運営されることが望ましいとの国の方針が出されたことで、(仮称)子ども包括支援センター設置に向けた具体的な検討が始まった。

2、(仮称)子ども包括支援センター設置に向けた基本方針・基本計画の策定

令和元年6月に、「安心して妊娠・出産・子育てができ、子どもが健やかに育つまち」を基本方針に掲げた。令和2年8月には基本計画を策定し、「すべての子どものすこやかな成長を切れ目なく支援する子ども家庭・地域の子育て機能の総合支援拠点」として、(仮称)子ども包括支援センターを設置することとした。そして、次の5つの基本施策が明記された。

(1) 相談を支援につなげる

「子どもなんでも相談」

(2) 虐待ゼロへ向けて

「虐待の早期発見、早期対応の体制構築」

(3) 支援を広げるSSW(スクールソーシャルワーカー)

「SSWがエール、子ども家庭支援センターの併任辞令」

(4) 支援を継続する

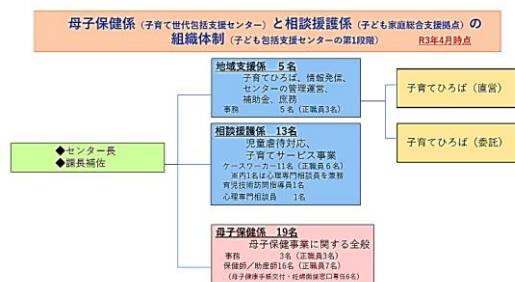
「中高生世代の支援(居場所づくり)」

(5) 支え合いの地域づくり

「子育てひろばの新設」

3、組織改正と実際の取り組み内容

令和3年度に、第一段階として組織改編され、子ども部子ども家庭支援センターに健康福祉部健康課から母子保健部門の事業と職員が統合し、母子保健と児童福祉が一体化した組織となり体制が構築された。



事務所は、(仮称) 子ども包括支援センターが建設前であったため、車で15分程で行き来できるそれぞれ元の場所で業務を継続した。

はじめに取り組んだのは、母子保健係、相談支援係のそれぞれが支援する担当家庭の支援の方向性を検討する会議に相互に参加することだった。連携して支援する家庭については、日々電話等で情報共有しながら同行訪問等を実施した。担当者間での連絡はすれ違いも多く情報共有にタイムラグができてしまうこともしばしばあった。

次に、母子保健係が実施する乳幼児健診でアンケートの回答内容を丁寧に確認し、必要な家庭に相談支援係が聴き取りを実施し支援に入った。

これらの効果として、支援が必要な親子に対し多角的な視点で検討し、妊娠期から切れ目のない包括的な支援に繋がったこと、乳幼児健診から相談や支援に繋がったこと、迅速かつ適切な支援に繋がることでその家庭にとって良い効果が生まれ虐待予防の一助となったことが挙げられる。

地域支援係では、コロナ禍の折、産後家庭向け配食サービス事業や、民生・児童委員や訪問支援ボランティアと連携し家庭訪問型子育て支援を実施するファミリーアテンダント事業に新規で取り組むなど、課一丸となり妊娠期からの支援に取り組んだ。

Ⅲ 現在地での一体化した支援

令和6年5月末、子ども包括支援センターみらいが開所。同じフロアで業務開始となり、子どもなんでも相談事業等も新設した。令和3年度から併任辞令が出ていた発達・教育支援課のSSWも

週3回席を置くこととなった。



支援する家庭や関係機関から電話が入ると、即座に担当者間で内容を共有し、互いの今後の方針を確認し合っている。職員からは、「一緒にいると、すぐ相談ができてとてもいい」と迅速な支援につながり効率的に進行できる効果を実感する声が聞かれている。同じフロアにすることで、こども家庭センターとしての合同ケース会議も効率的に実施できている。

Ⅳ まとめ

一体化し同じフロアで業務を進めていることで、対象家庭を多角的な視点で見つめ、迅速で包括的な支援が進められている。これからも対話しながらお互いの強味を活かし子育て支援を推進していきたい。

参考

- ・日野市（仮称）子ども包括支援センター設置に向けた基本方針
- ・日野市（仮称）子ども包括支援センター基本計画

